

「改善提案シート」 中間とりまとめ

第2回みんなで考える家庭ごみ減量会議で、参加者が記載した「改善提案シート」の内容を次のとおり分類した。

1 参加者からの改善提案概要

(1) ごみの減量

課 題		①生ごみを減らせていない
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家にあるコンポストを利用する ・ 生ごみの水切りをしっかりと行う ・ ベランダ用生ごみ処理ボックスを作成する ・ 可燃ごみとして生ごみを出さないようにする
	地域の実組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政区や部落ごとに生ごみ回収ボックスやコンポストを設置する ・ 地区ごとにスマートコミュニティバイオガス装置を設置して生ごみの減量化に取り組む ・ スマートコミュニティバイオガス装置やベランダ用生ごみ処理ボックスのことを周囲の人たちに伝える ・ 生ごみを処理した後の堆肥を、地域内にいる必要な人に使ってもらったり、公園の花壇で活用したりする
	行政の実組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理ボックスなどの知識を住民に浸透させる ・ スマートコミュニティバイオガス装置の設置を検討したり、装置に関する情報発信をしたりする ・ 生ごみ処理機や、コンポスト、ベランダ用生ごみ処理ボックスの設置に補助金を出す ・ 生ごみの減量に関する情報を繰り返し発信する ・ 部落ごとに生ごみ回収ボックスやコンポストを設置し、設置したものの管理費を部落へ支払う
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートコミュニティバイオガス装置の設置費用が低くなるように工夫をする ・ 処理後の堆肥を回収する

課 題		②ごみの分別や減量ができていない
改善提案	個人の実組	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別を行う努力をする ・ 近所や知人にごみの現状を知らせる ・ ごみではなくリサイクルに回す方法を知る ・ 生ごみの減量に取り組む ・ プラスチックごみや紙類のリサイクルに取り組む

	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力して分別や減量に取り組む ・ ごみ減量の啓発を行う（街頭パレードを月1回程度行うなど） ・ ごみを出す回数を減らす運動を行う ・ 生ごみ処理を行うことでできた堆肥を地域でシェアする ・ プラスチックや紙のリサイクルステーションを地域で運営する
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別や減量への取り組みを金銭的にバックアップする（イニシャルコストや広報などに） ・ ごみの減量や分別の進み具合を数値化して発表し、可視化する ・ ごみの減量や分別によるメリット・デメリットを住民に知らせる
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【民間事業者】家庭ごみや事業系一般廃棄物として出しているものの中に産業廃棄物として出すべきものがないか確認する

(2) 意識改革

課 題		①町民のごみ問題への意識を変えるのが難しい
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の意識を変えるためにいろんな人に声掛けをする ・ 身近な人（友人や家族など）に知らせる ・ 「面倒」「できない」という思い込みを捨て、今週のごみよりも来週のごみを減らせるように頑張ってみる ・ 無駄なものは買わない ・ 物を直して大事に長く使う ・ 生ごみを出さないようにしてごみ処理コストを下げ、町民税の減税につながるように町民全員で意識する ・ ごみ問題やごみの減量化への意識付けをするため、まずは軟質プラスチックの分別を行うことから始める
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館活動の中でごみ問題のことを伝えていく ・ 地域で不用品を持ち寄れるバザーや0円ショップの開催を行う
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを捨てれば捨てるほどお金がかかる仕組みにして痛い目にあうことで意識が高まるようにする ・ ごみの収集にはお金がかかっているということを可視化する（下水道料金などのように使用量が見えるようにする） ・ 防災琴浦町などを利用して呼びかけるなど広報活動を行う ・ 朝夕の行政放送で生ごみの水分を減らして出すことの重要

		<p>性を繰り返し伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙等でごみの減量を呼び掛ける ・ ポイント制を導入して減らした人が得をするようにする ・ ごみ袋の値段を1枚1,000円にする。 ・ 地域で不用品を持ち寄れるバザーや0円ショップの開催を行う際に補助をする ・ ごみのことを広報する際には世代それぞれにあった方法を工夫する ・ ごみ問題を考える月間などを行い、町民に周知を行う ・ ごみを減量したら、こういう未来が待っているというメリットのある青写真を行政が見える化する。
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【店】 そのままで販売できるものにはプラスチックの容器などを使わない ・ 【店】 過剰包装を行わない ・ 地域で不用品を持ち寄れるバザーや0円ショップの開催を行う際に、見切り品や新古・中古商品を提供する ・ 【メーカー】 製品を製造する際には最終処分まで責任を持つ

課 題		②企業側の意識改革（家電製品の修理期間が短い、過剰包装など）ができていない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修理期間の長いものを買うようにする ・ 包装が過剰でないものや廃棄の事まで考えられている製品を買うようにする ・ タッパーやボウルを持って個人商店に行き、包装がされていないものを買うようにする ・ 使わない小袋やチラシ、紙ナプキンは断るようにする
	地域の取組	・
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国に提案をしていく ・ 過剰包装を行わない個人商店を応援する企画を行う ・ 過剰包装を行わないように販売店へ依頼する
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【メーカー】 儲けることばかりを考えないで修理期間を長くする ・ 【メーカー・店】 過剰包装をやめるようにする ・ 【店】 賞味期限が近いものから売ることさらに取り組む ・ 【店】 バラ売り野菜や総菜は袋に入れることをやめる

(3) 周知

課 題		①軟質プラスチックの回収の取組みが知られていない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軟質プラスチックの回収の取組みを知って、出すようにする ・ 可燃ごみを減らすために、商品のラベルの表示をよく確認して細かく分別する ・ スーパーで購入した際にその場でトレーやラップが返せるようなら返す
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレーや軟質プラスチックの回収ボックスを地域に設ける
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回収場所をもっとわかりやすいところに設けて、周知を行う ・ 軟質プラスチックの回収場所を増やす
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【店】軟質プラスチック容器を商品に使用しないようにする ・ 【店】軟質プラスチックの回収ボックスを店頭を設置する

課 題		②ごみに関する情報が少ない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできる範囲で手に入れた情報を家庭内で共有する
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政放送を使ってごみに関する情報の周知を行う ・ ごみ処理に関する見学や体験ができる場を作る
	その他 (民間等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ごみ袋は週に1家庭1袋の習慣を」のようなキャンペーンを実施する

■その他の意見

- ・ 小型充電式電池の回収について知らなかったため、今まで分別できていなかった。回収ボックスの場所を増やしたり、設置してある場所のPRをしたりしてほしい。
- ・ ごみをお金に変える方法がないか。(まだ使える食器、家電、調理器具、服など) 使えるものは分別して、分別したらポイントがたまるなど。
- ・ MEGURU STATIONを絶対に導入したい。
- ・ コンポストや生ごみ処理機の助成金が欲しい。また、良いものを開発したメーカーは国から補助金をもらえるようにしたらどうか。
- ・ 自分に何か還元されるとごみの分別や生ごみの減量化が進むのではないか。意識改革、一気にみんな変われないのでハードルを上げずに段階的に小さいコミュニティから進めていくと良いのでは？高齢者は自分で分別することが難しいことがあるので、コミュニティ内で協力することが必要と思う。